



茨木地区 謹賀新年 保護司会だより



いほみずいそら
疣水磯良神社と
「玉之井の縁起」(三島一丁目)



鰐に乗る山幸彦。見つかった海幸彦の釣り針や干珠・満珠も描かれている。

疣水磯良神社の世話方の皆様が大切に保存されてきた「玉之井の縁起」という絵巻物がある。内容は海幸彦・山幸彦のお話で龍宮の玉之井や潮を操れる干珠、満珠も描かれている。明治34(1901)年に中城の常称寺から世話方に譲られたという譲状があり、境内に疣を取るという霊水が湧き出で、龍宮や干珠、満珠と縁の深い磯良神の神威にふさわしい絵巻物として迎えられたと考えられる。彩色は褪色がなく鮮やかで、傷みもほとんどない江戸期の貴重な絵巻物である。

(資料提供:疣水神社世話方の皆様 文責、写真:畠山眞悟保護司)

新春座談会

浪速少年院 倉繁 英樹 院長 X 更生保護女性会 西島 幸江 会長 X 更生保護協力雇用主会 吉岡 正宏 会長 X 保護司会 吉田 定雄 会長

浪速少年院の歴史といま

倉繁院長 大正12年、旧少年法施行と同時に日本で最初にできた少年院(当時の名称は「矯正院」)がここ浪速少年院と東京の多摩少年院です。その後、名古屋、仙台、福岡などの大都市にも設置されました。戦後には少年法も変わり、混乱期で、様々な事情から犯罪や非行をする子どもが増加する中、それまでは民間団体が運営してい



今年には浪速少年院が創立100年を迎えます。新春座談会として、浪速少年院倉繁英樹院長、更生保護女性会西島幸江会長、更生保護協力雇用主会吉岡正宏会長、保護司会吉田定雄会長に浪速少年院にて、お話をいただきました。

響いています。一方で、増えているのが、いわゆる引きこもりと言われる子どもです。ただ、引きこもるには、少なくとも衣食住にスマホやネット代の心配もいらぬという家庭環境が必要です。その点、今、うちに来ている少年たちは、

た少年保護施設も国に移管され、今に続く少年院の多くが発足しました。

実は、現在でも、日本の少年院に対応する国立の施設が設置されていない国は少なくありません。同じ矯正施設でも、刑務所はほとんどの国に存在する状況とは大きく違うところです。刑務所は、収容施設として存在すること自体に意味があるとも言えますが、少年院は、必ずしもそうではありません。非行に陥った少年を処遇し、改善更生するための手段の一つに過ぎず、手段方法は国によって様々です。逆に言えば、国家にとって必然の機関ではない少年院が100年間も存在し機能し続けてきたことは、決して当たり前前のことではなく、先人のたくさんの方々の苦勞や地域の皆さまのご理解とご支援があつてのことだと思えます。

なお、この少年院もかつては定員を超えていた時代もあったようですが、現在は、定員160名に對し、60名足らずです。これは、全国的にそうですが、少子化よりは、非行発生率の低下が大きく影響しています。

引きこもることも難しい環境で育ってきた者が多いと言えます。言い方を変えますと、無論、例外はありますが、社会不適応に至った子どものうち、資質面と環境面の両方で問題や困難を抱えた子どもだけが、今も少年院に來ている、という状況です。

少年犯罪の傾向は大麻がトップ

吉田会長 以前はバイク窃盗や、暴力行為のような事件が多かったと思いますが、時代とともに少年犯罪の形態は変わってきていますか？

倉繁院長 やはり大麻です。大麻所持以外で送致されてきた子どもたちでも大麻使用歴のない子はほとんどいません。逆に、一時期増えていた特殊詐欺は少し減少しているのかもしれませんが、組織の末端の受け子である彼らは、1000万円取っても、報酬は多くても3万円、しかし、一旦捕まってしまうと、損害賠償責任はその全額に及びます。報道等でその状況が広く知られるようになり、不良の先輩からうまい話があると言われても、さすがに簡単には飛びつかなくなったということでしょう。



更生会には院生と和やかな一時を

西島会長 更生保護女性会は毎年、少年院の色々な行事に参加させていただいていますが、このコロナ禍でここ2、3年ほとんど休止です。その前までは、春の観桜会に寄せていただき、お弁当を詰めるお手伝いを



して、園庭で院生たちと一緒にご飯を食べました。また運動会でフオークダンスもしましたね。

倉繁院長 やはり、職員ではない地域の方々に子どもたちに関わっていただくことには、職員が与えることができない大きな意義があると思います。職員にとつては、いくら頑張ろうが所詮は給料をもらって行う仕事です。縁もゆかりもない、地域の方々に来ていただくからこそ、自分は社会から見捨てられていない、自分も社会の一員なのだという実感につながると思います。

雇用主は更生の大きな担い手

吉岡会長 茨木の協力雇用主会は平成26年からいろいろな講座を通じてお世話になっていきます。協力雇用主というのは、そういう少年

たちを雇う側の立場にありまして、いろいろ難しい問題に直面するケースがございます。



少年院を出てきた子に、何を学んだかと聞きますと、非常に多くの気づきをさせられたという話がありました。周りの人が自分に対して本当に一生懸命、真正面から向いてくれている、自分がよ

く分かったということでした。

私どもは建設業ですが、以前は少年を力ずくで押さえながら働かせることもありましたが、最近はい

実際に横で接しながら絶えず、君のことを見守っているという気持ち

を相手にわかってもらえなければい

けないなと感じています。

倉繁院長 彼らには、自分なんて価値がないのではと思っている子が多いです。失敗したことやできないことを含め無条件に受け入れてもらったという実感、大事にしてもらったという経験が少ない。

そういう中では自分を信じる気持ち

が育ちにくく、また、自分を信じられなければ、他人も信じられ

ません。少年院では、そのような経験を含め育て直しを行っていく

必要がありますが、やはり少年院

の中は本当の社会ではありません。ここでできるのは更生へ向けた準備であり、本当の更生は社会の中に戻ってこそできるものだと思います。一方で、準備ができたからと言って、厳しい現実の社会の中では、少なくとも当面、しかるべき受け皿がなければ、早々に行き詰ってしまいます。その点を担っていただけにとってもありがたいことです。

吉田会長 保護司として少年たちと接している中で、彼らが社会とつながりはじめ、社会復帰ができそうだと感じるときは、保護観察の面接のとき、約束をしっかりと守って会いに来てくれたときです。そして、社会の基本ルールである約束が守れてから、自身がやってきた犯罪事件のことにに関して、被害者の立場に立つて物事を考えることができるのではないかと

思います。その点はずっとも気にかけています。

更生には地域との連携が必要

吉田会長 私は農業をしています

が、その地域の農家の団体と協力雇用主のような形で、協力ができ

いるといいですね。院内でも院外でも共同作業をされてはどうで

しょう。

倉繁院長 昔の職員には、農家出身の人も多く、農業の経験やノウハウを持っていました。今はそのような職員はほとんどいません。農業指導担当と言っても、指導書やネットで検索しながら少年を指導している、いわばニワカ百姓です。頑張ってくれていますが、なかなか難しい面があるのは否定できません。

吉田会長 4、5年前、茨木フェスティバルで刑務所の作業製品の販売に合わせて、少年院で収穫したジャガイモを販売いたしました。最近では難しいのでしょうか？

倉繁院長 前任の施設では、たくさん収穫できた時などに市の社会福祉協議会を通じて子ども食堂に寄贈したりしていました。今年、この施設では新型コロナウイルス感染症のため全く職業指導をできない期間もあつて、収穫は安定しているとは言えないかもしれません。また、どの施設もそうですが、現在、少年院で農園芸や木工などの職業指導を行う時間は10年前の3分の1以下になっています。カリキュラムが大幅に変更され、再犯防止や高卒認定試験のための勉強等により多くの時間を割くようになったためです。しかし、就労体験は重要ですので、製品の企画や販売といった経営感覚をも含んだ新たな取り組みを始めよう





社会を明るくする運動
シンボルマーク

社会を明るくする運動市民大会を終えて



社明部 部長 渡辺 明美

7月16日に、市民大会をクリエイティブセンター センターホールで開催しました。

新型コロナウイルス感染対策として密を避けるべく、市民の皆様については事前申し込みのうえ抽選を行い、社会を明るくする運動構成団体の方々を含めて198名が参加しました。今回は本市出身の落語家・桂 吉弥さんにご出演いただきました。前半は「笑いと人生」をテーマに講演をしていただき、茨木にまつわるご自身の生い立ちや落語との出会いについて語られ、地元の地名が出てくる話に参加者は興味津々で聞き入っていました。後半は落語「青菜」を演じていただき、会場は笑い声が絶えず明るい雰囲気につつまれました。

また、7月の強調月間中に、街頭宣伝活動に代わる新たな取り組みとして、JRなどの駅構内と、市内を走る路線バスの車内に、ポスターを掲示いたしました。若園バラ園と、「社会を明るくする運動」大阪府推進委員会マスコットキャラクター「アカルイーネ」を写したデザインで、茨木らしさと「社会を明るくする運動」のPRを行いました。これまでの街頭宣伝活動では、その時駅前にいる人々にしか啓発出来ませんでした、今回はその対象が拡大したことと思います。

今年度は、矯正展を2月18日(土)19日(日)イオンモール茨木で開催します。昨年度は急遽中止になりましたが今年度は開催できることを願いながら刑務所作業製品販売とBBS会の「まちがいがし」、我が国最初の少年院として茨木郡山にある浪速少年院の啓発活動・パネル展示を計画しています。引き続き皆様のご参加・ご協力をよろしくお願いいたします。

●講演
「笑いと人生」・落語
出演者 桂 吉弥氏



イオンモール茨木矯正展
～ 刑務所作業製品展示即売会 ～
〈日程〉令和5年2月18日(土)・19日(日)
〈場所〉イオンモール茨木1階ジョイプラザ



7月30、31日の2日間、社会を明るくする運動の一環として、BBS会が茨木フェスティバルにスーパースポーツの出店しました。

茨木シティパルク
BBS会出店

倉察院長 ここへ赴任してきて、
近年はアルバイトだけでもお金が稼げたり、楽な仕事がいっぱいあったりして、定職につかなくていいかと思っている少年が増えていっているのではないかと心配しています。当方としてはいろいろな業種を少年たちに紹介したり、その実際の職場体験に来ていただいで、働くことを知ってほしいと思っています。まだまだ機会が少ないのではないかと。一層の連携をと思いま

としています。
西島会長 更女会では、コロナ禍の中、何かできないかと考え、子ども食堂を運営する茨木フードパントリーへ、日常着るものとか、食料などを提供する活動を始めたが、少年院でも地域に向けての活動がなされるとよいですね。
吉田会長 少年院を地域の人たちに広報・啓発していくということでは、今後の矯正展などでのパネル展示とか、一緒に何かできるのではと思います。また、保護司としても、もう少し少年院を理解する必要があるのでは、研修会に向いていただければ幸いです。
吉岡会長 雇用主会というのはこの地域の業者の集まりであり、地域貢献は大事なテーマです。その業者さんたちの多くが、この浪速少年院のために何かしたいと思っています。



戦前の写真や資料を見るとこんなにも社会と交流があり、地域の中で処遇が行われていたことに驚きがあります。戦後、少年院が内向きになっていった時期があり、今、また、コロナ禍で社会との交流機会が著しく減っています。このような期間が長く続けば、少年院という言葉は皆知っていても、それがどのような施設なのか正しく理解されないのでは、ここに入っている子どもたちの将来にも悪影響が出ると思います。今年には、感染防止に配慮しつつも、できる限り広報も行い、再び地域の皆さんと、子どもたちの更生のため、一層の連携を深めていきたいと思っています。本日は皆様のお話を聞いて、心強く思った次第です。

特集

「矯正施設・更生保護施設」

大阪保護観察所

「矯正施設と更生保護施設」の「種類と役割」を大阪保護観察所にまとめていただきました。

1 矯正施設

(1) 刑事施設
刑事施設には、刑務所、少年刑務所及び拘留所の3種類がある。刑務所及び少年刑務所は、主として受刑者を収容する施設であり、拘留所は、主として未決拘禁者を収容する施設である。

刑事施設の職員定員(法務省矯正局作成「日本の刑事施設(2019年度)」)は、総計19,657人であり、そのうち刑務官が17,514人、作業専門官、教育専門官及び福祉専門官等が1,188人、医師、薬剤師及び看護師等が780人、事務官等が175人であり、多くの職種の方が協働して勤務している。

(2) 刑務所及び少年刑務所

主に受刑者を収容し、受刑者の資質及び環境に応じ、その自覚に訴え、改善更生の意欲の喚起及び社会生活に適應する能力の育成を図るため、集団処遇が

実施されている。刑が確定した受刑者に対して、心身の状況、成育歴、犯罪性の特徴、家庭・生活環境、将来の生活設計などの受刑者の処遇に必要な基礎資料を得るための処遇調査を行い、処遇指標(矯正処遇の種類、内容、属性及び

(3) 拘留所

主に未決拘禁者、死刑確定者及び各種被収容者を収容し、それぞれの法的地位に応じた処遇を行っており、特に未決拘禁者に対して、関係法令に基

づく正当な防衛権の行使に配慮しながら、一方で、逃走及び罪証隠滅の防止を図り、捜査及び裁判の円滑な進行に寄与し、また、裁判において刑が確定した受刑者を刑務所に移送するまでの間、収容するとともに、一部を除く拘留所(拘留支所含む)において刑務作業に従事させる受刑者を収容し、刑の執行を通じて、改善更生と円滑な社会復帰を図るための処遇を行っている。

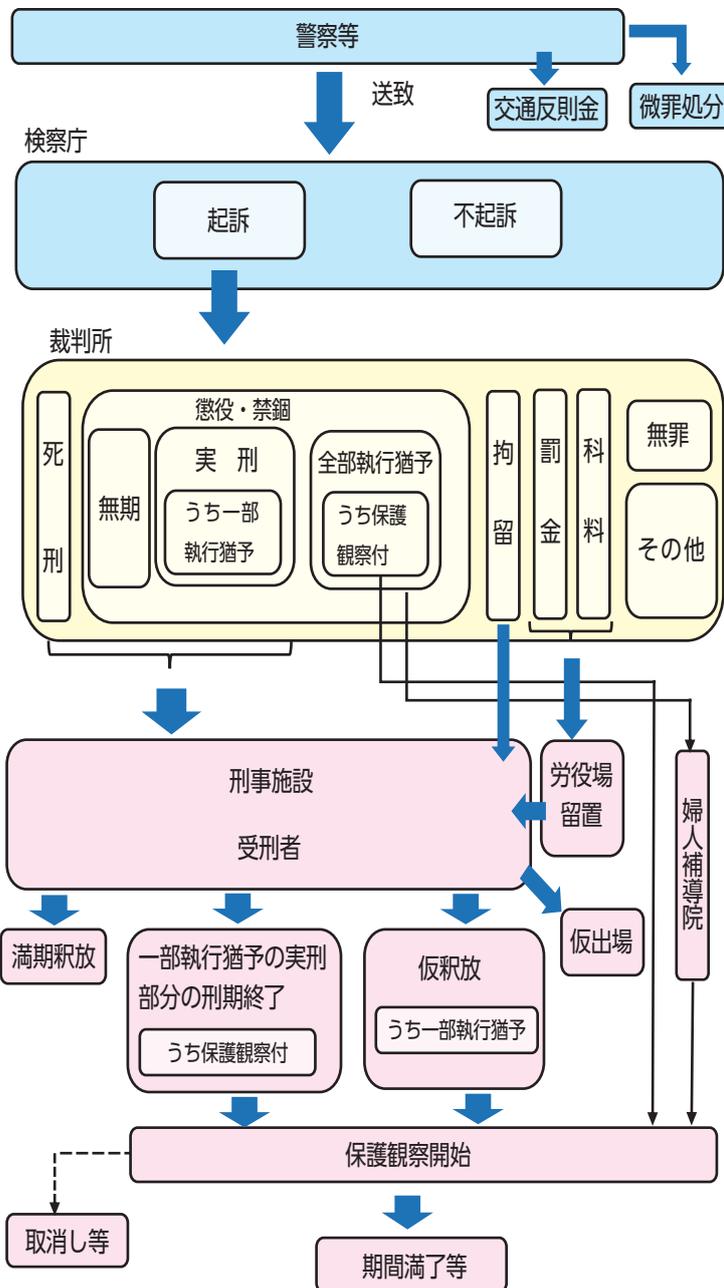
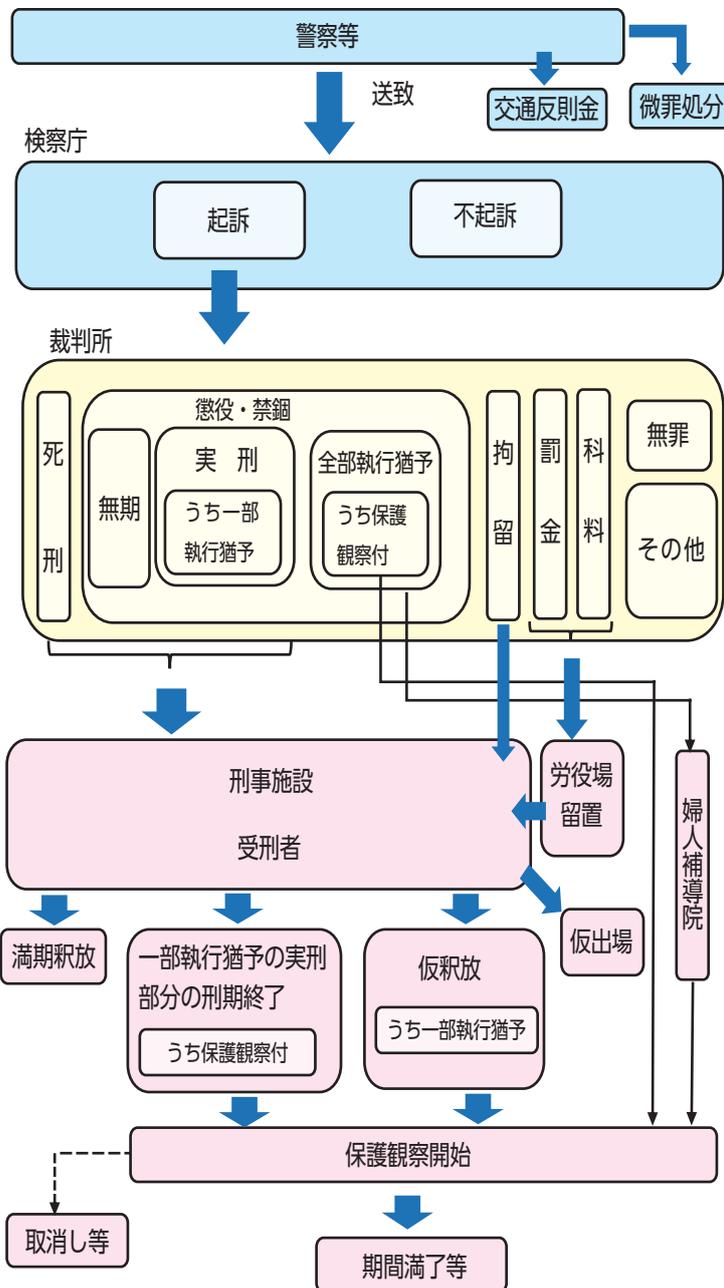
(4) 少年鑑別所

少年鑑別所は、①家庭裁判所の求めに応じ、鑑別対象者の鑑別を行うこと。②観護の措置が執られて少年鑑別所に収容される者等に対し、健全な育成のための支援を含む観護処遇(落ち着いた気持ちで審判を受けることができるよう、規則正しい生活を送りながら、少年の健全な育成への配慮とし

犯罪傾向の進捗)の制定及び処遇要領を策定し、矯正処遇等を実施している。
矯正処遇等とは、刑務作業(生産作業、自営作業、職業訓練、社会貢献作業)、改善指導(一般改善指導、特別改善指導、刑執行開始時指導及び釈放前指導)から成っている。
犯罪傾向の進捗)の制定及び処遇要領を策定し、矯正処遇等を実施している。
矯正処遇等とは、刑務作業(生産作業、自営作業、職業訓練、社会貢献作業)、改善指導(一般改善指導、特別改善指導、刑執行開始時指導及び釈放前指導)から成っている。
犯罪傾向の進捗)の制定及び処遇要領を策定し、矯正処遇等を実施している。
矯正処遇等とは、刑務作業(生産作業、自営作業、職業訓練、社会貢献作業)、改善指導(一般改善指導、特別改善指導、刑執行開始時指導及び釈放前指導)から成っている。

犯罪者処遇の概要(成人の場合) ※令和3年版犯罪白書参考

【図1】



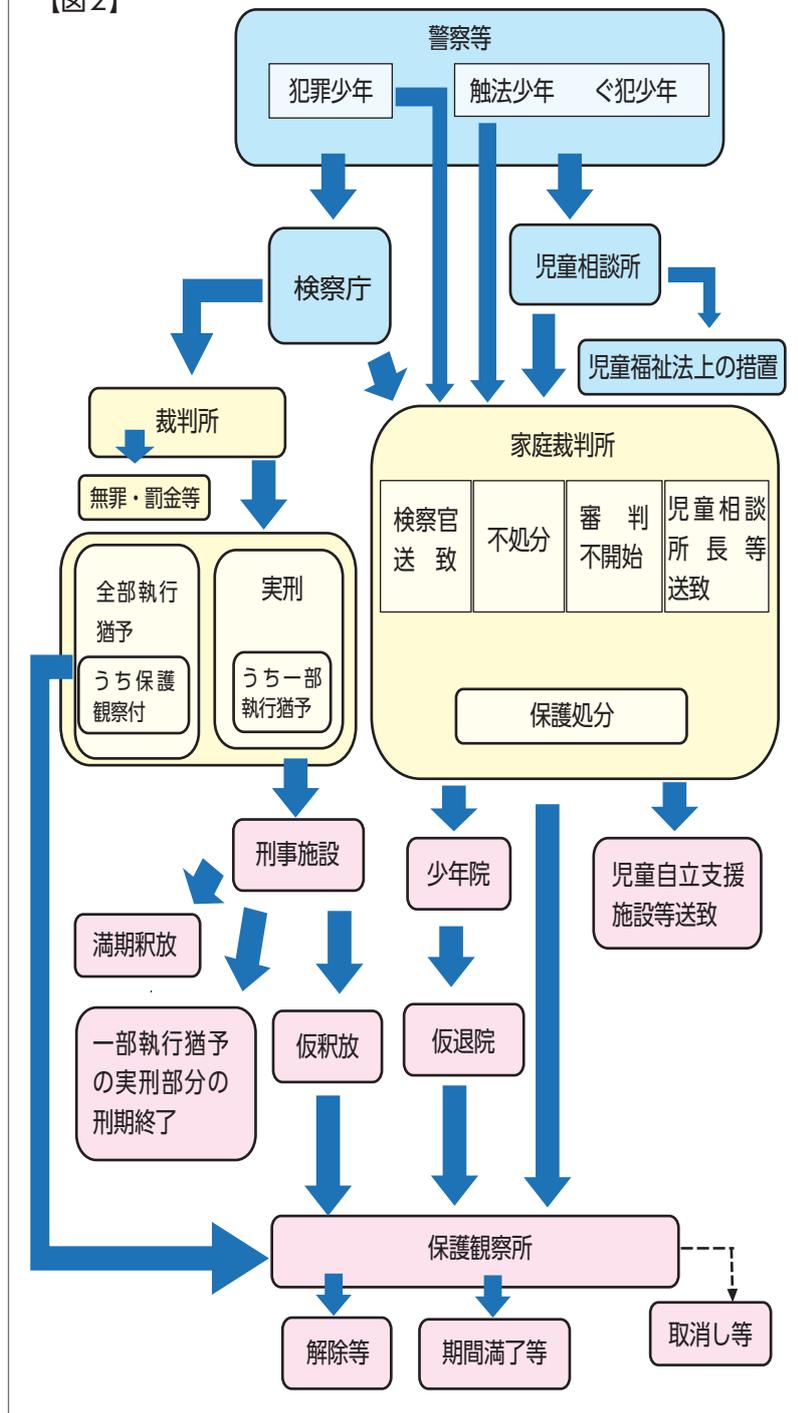
て、その自主性を尊重しつつ、健全な社会生活を営むために必要な基本的な生活習慣等に関する助言・指導を行い、また少年の情操を豊かにし、健全な社会生活を営むための知識及び能力を向上させることができるよう、学習支援、読書、講話、季節の行事等の機会を設けることを行うこと。③地域社会における非行及び犯罪の防止に関する援助を行うことを業務としている。

鑑別とは、医学、心理学、教育学、社会学などの専門知識や技術に基づき、鑑別対象者について、その非行等に影響を及ぼした資質上及び環境上問題となる事情を明らかにした上で、その事情の改善に寄与するため、適切な指針を示すことであり、家庭裁判所、地方更生保護委員会、保護観察所の長、児童自立支援施設の長、児童養護施設の長、少年院の長又は刑事施設の求めに応じて行っている。

また、「法務少年支援センター」として、非行・犯罪に関する問題や、思春期の子どもの行動理解等に関する知識・ノウハウを活用して、一般相談、心理相談、研修会及び講演会などの講師派遣、法教育の実施を行い、地域社会における非行及

非行少年処遇の概要 (少年の場合) ※令和3年版犯罪白書参考

【図2】



び犯罪防止に寄与している。

(5)少年院

在院者の特性に応じた適切な矯正教育その他の健全な育成に資する処遇を行うことにより、改善更生と円滑な社会復帰を図ることを目的とし、人権を尊重しつつ、明るく規則正しい環境の下で、健全な心身の成長を図るとともに、自覚に訴えて改善更生の意欲を喚起し、自主、自律及び協同の精神を養う処遇を行っている。

少年院の種類として、第1種少年院、第2種少年院、第3種

少年院、第4種少年院、第5種少年院があり、それぞれ年齢、心身状況及び犯罪傾向の進捗によって、施設が設置されている。

それぞれの少年院には少年院矯正教育課程(少年院内でのカリキュラム)が定められ、個人の特性に応じた矯正教育の目標、内容、期間等を定めた個別矯正教育計画を作成し、矯正教育を実施している。

矯正教育は、生活指導を中心に職業指導、教科指導、体育指導及び特別活動指導を体系的・組織的に実施している。

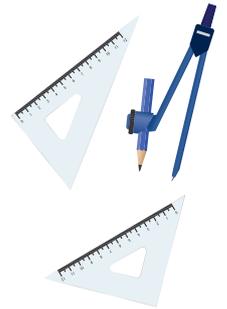
2 更生保護施設

更生保護施設は、主に保護観察所から委託を受けて保護観察に付された者や刑務所等から出所した者で、頼るべき人がいないなどの理由から、社会内での改善更生するに当たり、自助のみでは解決困難な問題を抱える者に対し、住居や食事確保、健康問題への対応、就労先の確保等これら事業を行って、その円滑な社会復帰を支援している施設である。現在、全国に103施設があり、ほとんどが更生保護法人により運営されている。

更生保護施設の役割は、宿泊場所や食事を提供するだけでなく、入所者が社会生活に適應するために必要な指導や援助を行っている。必要な指導の中には、対人関係を円滑にするために「SST(ソーシャルスキルトレーニング)・社会生活技能訓練」や飲酒・覚せい剤使用の問題を改善するための指導などを行っている施設が存在する。また、自立に向けて、就労に向けた指導や援助、貯蓄や金銭管理の指導、更生保護施設退所後の住居調整及び福祉機関や医療機関への橋渡しをしている。

保護司会

動 静



令和4年度大阪更生保護大会開催

令和4年10月27日(木) フェニーチェ堺

茨木地区からは次の方々表彰されました。(敬称略)

●全国保護司連盟理事長表彰

橋井 千賀子

●近畿地方更生保護委員会委員長表彰

島内佐喜子 橋 和夫

小阪 博史

感謝状

茨木市社会福祉協議会

福井 紀夫

●近畿地方保護司連盟会長表彰

小西 正明 大神 硬司
小西 利一 上沼 愛子
若山香寿美

●大阪府知事感謝状

東 朝子(更生保護女性会)
吉岡建設株式会社
(協力雇用主)

●大阪保護観察所長功労保護司表彰

下田平裕司 桐島 康典

殿村 昌弘

●永年勤続保護司表彰

北浦 雅代

感謝状

岸田 尚美

(更生保護女性会)

株式会社桐島総業

代表取締役 桐島 康典
(協力雇用主)

島田 清美

(茨木市母子福祉会)

藤本 和希 船奥穂乃佳
(BBS会)

山脇亜香莉

●大阪保護司会連合会会長表彰

佐々木大照 敷知 龍一

感謝状

平松かよ子 (家族功労)

退任保護司

ご苦労様でした

福田 充子氏

(平成十八年九月二十五日)
令和四年九月二十四日

新任保護司です。

よろしく

令和四年九月二十五日付



加勢本 正司

(天王中学校区)



協力雇用主会新入会

株式会社 ELENA(エレナ)

茨木市沢良宮西二丁目番一五四〇五

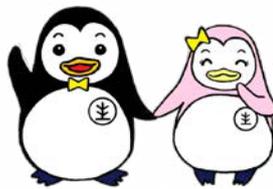
〈業種〉訪問看護

遺品整理事業等

受章お祝い申し上げます

瑞宝双光章(郵政事業功労)

片岡 和洋 保護司



敬 弔 (名誉会員)

故小林 伊一氏 七十九歳

令和四年七月二十九日ご逝去



(H18.9.25
H30.9.24)

組織部長として、協力雇用主の開拓に力を注がれました。茨木地区更生保護協力雇用主会の立ち上げにもご尽力いただきました。



生前のご芳情に
心より御礼申し上げます

編集後記



- 「保護司会だより」読んでいますか?字を大きく・写真を多く・楽しい話題を入れる等、読み易い紙面作りで多くの人に読んで頂きたい。(Y)
- 広報部になり、最初は頭を抱えました。一番苦手な分野、2期目になり苦手意識は少し克服できたかも。(K)
- 動画での研修や講義も実用的ですが、対面は人柄も感じ取れるよいものだと改めて思います。(A)



茨木市更生保護サポートセンター

電話 072-620-8310
はんざいゼロ

非行・犯罪に関する相談をお聞きします。秘密は厳守します。
来所の際は必ず電話予約をお願いします。

【開所時間と相談予約の受付時間】 平日 10時～16時（祝日と年末年始は除く）

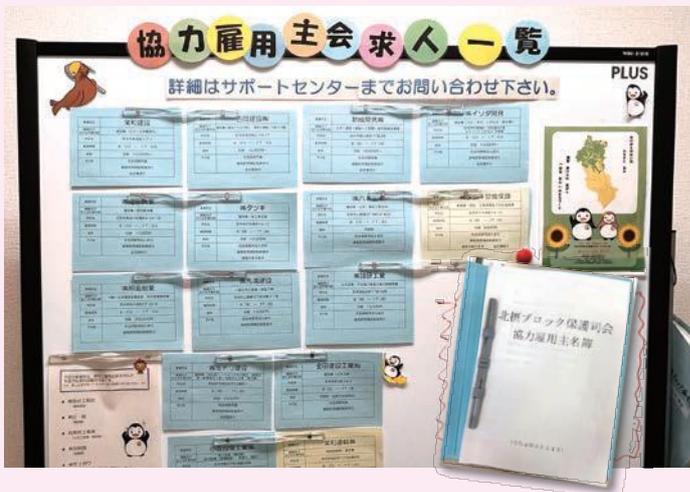
【所在地】 茨木市福祉文化会館(オークシアター)1階（茨木市駅前 4-7-55）

予約をすれば夜間、土曜日、日曜日に相談することも可能です。

※平素は、保護観察対象者やその家族との面談、保護司の研修、更生保護関係団体相互の情報交換、会議などに使用されています。

茨木市更生保護サポートセンター 通信

協力雇用主会の求人情報



サポートセンター内の通路に、茨木地区更生保護協力雇用主会をはじめ、北摂ブロック各地域の求人情報があります。

協力雇用主とは、犯罪をした者等の自立や社会復帰に協力することを目的として、その事情を理解した上で雇用し、改善更生に協力する民間事業主です。

職に就き、責任ある社会生活を営むことは、更生の決心と立ち直りに向けた大きな一歩になります。健全な社会の一員となっていくことが、安全・安心な社会の実現につながっていきます。

【「保護司のてびき保護観察・生活調整の進め方」を参照】

★令和4年度上半期の利用状況★

(R4.1 ~ R4.30)

保護観察官の定期駐在	9回	
保護観察対象者との面談	153回	
会 議	保護司会	5回
	更生保護女性会	7回
	茨木BBS会	4回
	更生保護推進協議会	1回
	更生保護協力雇用主会	2回
	その他	0回
市民からの相談	1回	
保護司来所人数(延べ人数)	403人	

開 所 日 数	4月	5月	6月	合 計
	20日	19日	22日	
	7月	8月	9月	123日
	20日	22日	20日	

茨木地区 事件係属状況	保護観察 件数	生活環境調整件数	
		刑務所等	少年院
令和4年4月	63	47	2
令和4年5月	56	47	2
令和4年6月	57	46	2
令和4年7月	58	47	2
令和4年8月	54	44	2
令和4年9月	46	47	0

(各月末日現在)